

郷土館講座

冬のかや沼

自然と歴史の冒険散策

冬の茅沼を散策しませんか？

スノーシューを履いて、シラルト口湖の氷上から蝶の森を歩きます。冬にしか見られない生き物の足跡や、人々の残した歴史の痕跡を白銀の世界から探します。

散策の後は憩の家かや沼で休憩と温泉を楽しむこともできます。参加をお待ちしています。



■日時／3月11日(土)、午前10時～11時30分

■定員／8人

■参加費／無料

■集合場所／憩の家かや沼

■申込締切／3月8日(水)

※各自で防寒対策をお願いします。

※スノーシューがない方は貸し出しますので、申し込みの際にお知らせください。

※入浴は有料です。

大川のほとり

—郷土館だより(第73号)—

☎487-2332

開館時間

午前9時30分～午後4時30分

郷土館より
一筆啓上

毎年この時期に郷土館の移動展を行っています。1週間に1度のペースで、多くのはく製を車に積み込み町内を走っていますが、後続車から見ると驚きの荷物かもしれません。(坪)



『日本行刑史散策』より引用

この番組を見て集治監へ興味を持った方がいるかもしれませんが、当館には鉄丸などの実物資料はほとんどありません。複製品でもよいので、囚人服や鉄丸などを展示できればとあらためて考えました。

かもしません。

2月8日にこの内容が放送され、釧路集治監の写真などが紹介されました。番組調べでは、鉄丸を付けた経験のある人を見つけ出せなかったものの、鉄丸を付けた囚人を見たことがある方や、鉄丸を囚人に付けたことのある元刑務官の方を発見し、インタビューしていました。昭和3年以降も、特殊な条件で戦前まで使われていたの

が分かり、回答しました。

「昔の監獄の写真などを見ると囚人は足に鉄球を付けられていたようですが、実際にそれを付けた経験のある人は、今もまだ生きているのでしょうか？」という質問で、質問者はいろいろな所へ問い合わせたが分からず、当館へお電話されたことでした。普段とは違う切り口で寄せられた質問でしたが、さらにお話をうかがうとTBSテレビ「水曜日のダウンタウン」という番組で取り上げたいとのことでした。当館で調べた結果、①鉄球の正式名は鉄丸といい、集治監や監獄での囚人懲罰のための戒具の一つであること。②明治期から使われたが、昭和3年の「監獄法施行規則」により戒具としての記載は削除されたこと。③釧路集治監では使われた可能性が非常に高いこと。④昭和3年に廃止されたとすれば、鉄丸を付けた人が当時20歳の若者だったとしても、現在は108歳になるので、生存している方を見つけるのは難しいと思われる。⑤

今年度せたくねこの質問が寄せられました

地元

の人は

釧根を取り上げた作品たち(小説編)

不定期コラム

コレを読め!! 第2回

郷土館職員が北海道を題材にした「お勧め本」を紹介します!

『兄弟とピストル泥棒』 著者 中戸川 吉二

～「じゃ君は標茶まで行くんですね。
兎も角、今夜は塘路宿りにするんでしょうさ」～

舞台は明治42年(1909年)8月下旬、今から108年前の道東。屈斜路湖畔を目指す兄弟の10日間にわたる冒険旅行のお話です。

タイトルにもある兄が持つ「ピストル」ですが、明治の日本では郵便配達員にピストルの携帯が許可されていました。現在は所持することさえ違法ですが、当時は郵便配達員がクマやオオカミ、または強盗に襲われた時に対処する防衛手段として持たされていました。このように小説の至る所に、明治と現代の「違い」が垣間見えます。作家が描いた当時の思いと雰囲気に触れてみてはいかがでしょうか?

この作品は釧路生まれの小説家、中戸川吉二(明治29年生～昭和17年没)の代表作の一つです。自身が兄とともに体験した旅行をベースに、大正8年に執筆された作品でした。

作中では塘路駅通や標茶の旅館で宿泊する様子、標茶から釧路川を運行し釧路市街へと至る川舟での様子などが出てきますが、弟の視点による細かな描写で語られており、中戸川兄弟たちが実際に明治末期の標茶で体感したものであったのかもしれませんが。

中戸川吉二は芥川龍之介とも親交のあった作家で、若くして創作を止めているため幻の作家とも称されています。古い作品なので目に触れる機会は少ないですが、短編で難しい言葉も少なく非常に読みやすい作品です。図書館や郷土館で見ることができますので、興味のある方は問い合わせください。



30ページに満たない短編です。
ぜひ一度読んでみてください

平成28年度 郷土館資料移動展

ふしぎなはく製の 魅力展

「はく製製作の職人さんに聞いたQ&A」、触れるタヌキのはく製4体が並ぶ「群がるはく製」など、子どもも大人も楽しめます。

展示会場・期間 今月は下記の会場で展示します。
ぜひご覧ください。

- ・沼幌小学校…3月2日(木)～8日(水)
- ・阿歴内公民館…3月9日(木)～15日(水)
- ・塘路住民センター…3月16日(木)～22日(水)

※展示会場休館日は休みです。

好評開催中

